

2009.7.16



白門技術士会

ニュースレター vol.9

会員の皆様へ

このニュースレターは、会員相互の情報交換を目的に、会の活動内容とともに会員個人の様々な活動などについてお知らせするものです。

今回は、これからの白門技術士会の行事予定をお知らせするとともに、本会の「CO2環境対策技術研究会」幹事長の内藤堅一さんが、この研究会の紹介をさせていただきます。毎回、充実した見学会、講演会が開催されています。みなさま、是非、ご入会ください。そして、一緒にCO2対策について考えていきましょう。

では、ニュースレターをお楽しみください。

◇白門技術士会行事予定◇

No.	行事	日程	内容
1	CO2環境対策技術研究会 第4回研究会	2009年7月23日(水) 13:00~17:15	◎場所：東京ガス根岸工場 ◎内容：見学会及び講演会
2	CO2環境対策技術研究会 第5回研究会	2009年10月末	◎場所：東京電力 原子力発電所 ◎内容：見学会及び講演会
3	幹事会	2009年9月11日(金) 18:30~	◎場所：学会会会議室(715会議室) ◎内容：講演会に関する件ほか
4	講演会：バイオメトリックスについて	2009年10月2日(金) 18:30~	◎場所：日本技術士会会議室 ◎講師：溝口正典氏
5	ホームカミングデー出店 「よろず相談コーナー」	2009年10月25日(日)	◎場所：中央大学多摩キャンパス ◎内容：技術士による相談所

付記：各講演会共に、CPD「1.5単位」が付与されます。CO2環境対策技術研究会のCPDは単位数が異なります。

講演会参加費用：各1500円(CO2環境対策技術研究会の参加費は別途御連絡します)

講演会后、懇親会を予定しています。

◇エッセイ◇

「CO2 環境対策技術研究会に参加しませんか。」：内藤 堅一（建設部門）

1. 何で私が幹事長に！

何で私が…というキャッチコピーのコマーシャルがありました。私の心境はまさにそれにぴったりです。私はCO2研究会の幹事長を仰せつかっていますが、それまでは、白門技術士会の会員ではありましたが、幹事ではなく、白門後術士会の講演会や総会にたまに顔を出すという程度の普通の会員でした。

昨年7月18日に第2回のCO2研究会の幹事会があり、白門技術士会会長で、CO2研究会副会長の金川さんからメールで、幹事会に参加しないかと誘われたのが最初です。私は技術士資格を建設部門で取得しているので、CO2研究に何で貢献できるのか明確なイメージはありませんでしたが、とにかく中央大学後楽園校舎に出向きました。私を含めて8人がお集まりでしたが、一般会員で参加したのは勿論私一人でした。前回議事録も今回の議事録も金川さんが作成されるというので、「それぐらいはお手伝いしますよ。」と言ったのが運のつきで、その場で幹事長をお願いしますということになってしまいました。

その後、8月1日に白門技術士会の幹事会があるので、会議で直接報告して欲しいと言われ、会場の中央大学学院会に出向くと、白門技術士会幹事になって欲しいということになり、その場で幹事就任です。とんとん拍子の出世ですが、何で私が…というのが、偽りのない心境でした。

しかし、引き受けてしまった以上は仕方がないと、これまで3回の研究会の幹事をやり、今4回目の研究会を企画して、参加者募集中です。

2. CO2研究会の目指していること

私がCO2研究会に参加したのは第2回幹事会からですので、白門技術士会幹事会でCO2研究会設立についてどのような議論が行なわれたかについては承知していません。入会案内には以下のように記載されています。

「現在、世界的に地球温暖化、或いは化石燃料の使用増大を防ぐ等地球環境にこれ以上CO2を増やさない技術の開発・利用が進められており、まさに今世紀最大の課題となっています。我々もこの問題に取り組もうと、このたび中央大学理工学部の先生方（中大出身で他大学の先生も含む）と白門技術士会が中心となって「CO2環境対策技術研究会」を設立致しました。

本研究会では大学の先生や技術士に加え、CO2を減少させるプロセスや装置を持つ企業、省エネ技術を持つ企業、或いはそれらのプロセスを使いたい企業等の参加を期待しております。また将来、本研究会から国や企業の支援を頂けるプロジェクトを作り出したいと思っています。」この趣旨に賛同して会員になって頂いているのは、現在、個

人会員 28 名、法人会員 2 社になっています。会長、副会長は次の方々をお願いしています。

会 長：村上 和雄 東京家政大学家政学部環境教育学科教授(中央大学出身)

副会長：大石 克嘉 中央大学理工学部応用化学学科教授(中央大学出身)

副会長：金川 護 白門技術士会会長

現在幹事会で取組んでいる課題は以下の 3 つです。

1) 研究会の開催

CO₂研究会会員及び白門技術士会会員を対象に見学会と講演会を組み合わせた研究会の開催を行っており、今までに後述のように 3 回実施しています。7 月末には 4 回目の研究会を企画しています。

見学会、講演会の後には交流会を行い、会長、副会長等の幹部や講演会講師と会員との懇親、意見交換を行なっています。今までの 3 回では、3,000 円会費ですが、大変盛り上がり好評です。

2) 中央大学大石教授の発明された CO₂ 吸着剤の活用方策の検討

当研究会の副会長をされておられる大石教授は、セラミック製 CO₂ 吸着剤の研究をされています。一定の温度域では、CO₂ を吸収し、一定の温度域では CO₂ を放出するという物質です。これを特定の施設のどこで CO₂ を吸収し、どこで CO₂ を放出させれば、ビジネスモデルとして成り立つのかを、研究会の幹事会で議論しています。

見学会、講演会を組み合わせた研究会を開催する中で、どのような施設で利用可能なかを研究させて頂いています。

今のところ、吸着剤が高価なので、まだ具体的な利用方法には辿り着いていませんが、当研究会での議論を踏まえて、大石教授は安価で一度吸収した CO₂ をそのまま埋め立て処分できるような吸着剤や、高価な吸着剤は微量で高い効果が期待できる利用方法を継続して研究されておられます。

3) 研究活動への助成金の獲得

当面は、中央大学大石教授の発明された CO₂ 吸着剤の活用方策の研究に外部の助成金を獲得して、さらに研究を進めて頂くことを考えています。平成 20 年度は三井物産の研究助成制度の「活動助成」に当研究会として応募しましたが、残念ながら助成対象に選ばれませんでした。

平成 21 年度は当研究会としてではなく、「研究助成」に大石教授ご自身に応募して頂くことを考えています。CO₂ 吸着剤を安価にある程度の量産ができるようにすることが当面の目標です。

3. 今までに開催された研究会と企画中の研究会の紹介

- 1) 第1回研究会 2008年9月27日(土) 9:30~18:00
 - (1) 見学会：東京電力横浜火力発電所と電力資料館
 - (2) 講演会：テーマ：セラミック製CO₂吸着剤の性能について
講師：中央大学理工学部応用化工学科教授 大石克嘉氏
 - (3) 交流会：十条

- 2) 第2回研究会 2008年12月4日(木) 13:00~17:30
 - (1) 見学会：東京都下水道局みやぎ水再生センター
 - (2) 講演会：テーマ：有機性廃水の汚泥減量化
講師：(株)サピエナント 社長 松本成樹氏
 - (3) 交流会：十条

- 3) 第3回研究会 2009年4月23日(木) 13:00~17:00
 - (1) 見学会：流山市クリーンセンター
 - (2) 講演会：テーマ：廃棄物焼却場のCO₂対策の現状と課題
講師：パシフィックコンサルタンツ(株) 石川 禎昭氏
 - (3) 交流会：新松戸

- 4) 第4回研究会 2009年7月23日(木) 13:00~17:00
 - (1) 見学会：東京ガス根岸工場
 - (2) 講演会：
 - 講演① テーマ：船舶のCO₂対策の現状と課題
講師：東亜建設工業(株) 泉 信也氏
 - 講演② テーマ：国際温暖化交渉の現在
講師：東京ガス(株)環境部 武川 昌男氏
 - (3) 交流会：横浜中華街：蓬莱閣

4. 研究会への加入のすすめ

まだ始まったばかりの研究会ですし、幹事長も前述のように素人からの抜擢で、十分な働きが出来ていません。しかし、前述のようにこの1年で4回の研究会を企画して、第3回研究会までの見学会、講演会、交流会を実施してきましたし、第4回の研究会を準備中です。

見学会の都合で平日に開催することが多いにも係らず、毎回多くの会員と白門技術士会会員の方々の参加を頂いています。

前述のように、現在研究会会員は、個人会員28名、法人会員2社になっています。

今後は、一般会員の方にも出来るだけ幹事会に参加して頂き、いろいろな角度から提案を頂きたいと考えています。大石教授の CO2 吸着剤の次のテーマも含めて、研究会としてどのような発信が出来るのかを皆さんと一緒に勉強していきたいと考えています。

奮って研究会の会員になって、研究活動に参加して頂くよう、白門技術士会会員の方々にお願いして、このレポートを終らせて頂きます。

(編集：白門技術士会広報部会)